医療法人 清慈会
鈴木病院

赤ちゃんの「あたまの形」、気になっていませんか？

鈴木病院「あたまの形外来」のご案内

「後ろが平らな気がする…」「右ばかり向いて寝ている」「左右で形が違うかも」
そんなふうに赤ちゃんの“あたまの形”が気になったことはありませんか？
実は、最近は**仰向け寝**や**向きぐせ**の影響で、赤ちゃんの頭の形にゆがみが出るケースが増えています。

鈴木病院では、このようなお悩みにお応えするために
「あたまの形外来（頭蓋変形外来）」をスタートしました。
「このまま様子を見ていいのかな？」「治るの？」「病院に行くほど？」
そんな不安を抱えるパパやママのために、専門スタッフが**ていねいに診察・アドバイス**いたします。

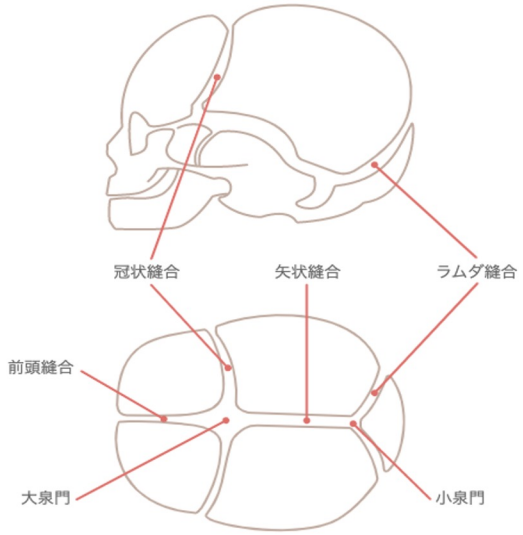
少しでも気になることがあれば、まずはお気軽にご相談ください。
TEL0565-33-8051

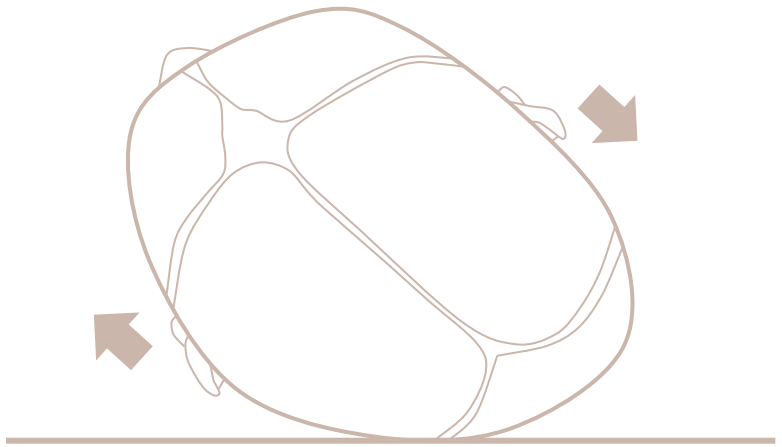
あたまの形外来って、どんなところ？

当外来では、「位置的頭蓋変形症（いちてきずがいへんけいしょう）」と呼ばれる、**病気ではないけれど生活の中で起こる頭のゆがみ**に対応しています。
赤ちゃんの頭の骨はとてもやわらかく、生まれたばかりの時期は7つの骨がパズルのようにつながっています。
そのため、いつも同じ方向ばかり向いていたり、仰向け寝の時間が長かったりすると、一部にだけ圧力がかかり、成長のバランスが崩れてしまうことがあります。

ほとんどの場合、**脳の発達や知能には影響はありませんが**、将来的に見た目（整容面）やかみ合わせ、眼鏡・ヘルメットなどの装着に関わる左右差が気になるケースもあります。

そんな「気になるけど、どうすればいいかわからない…」という声にお応えして、赤ちゃんの状態を正確に診断し、**必要に応じて適切なケアや治療をご提案**します。





こんな頭の形、見たことありますか？

斜頭（しゃとう）

→ 頭の後ろが斜めにゆがみ、上から見ると“ひし形”や“平行四辺形”に見える形です。
向きぐせや斜頸（首のかたより）が原因になることが多いです。

短頭（たんとう）

→ 仰向け寝の時間が長い赤ちゃんに多く見られ、後頭部が平らに。
頭の前後が短く、左右に広がった形になるのが特徴です。

長頭（ちょうとう）

→ 横向きの姿勢が長く続いたことで、頭が細長くなるタイプです。
NICU（新生児集中治療室）で過ごした赤ちゃんに多く見られます。

対象になる赤ちゃん

◆生後0～12か月ごろまでのお子さま。

◆向きぐせが強く、同じ方向にばかり頭を向ける。

◆頭の形のゆがみが気になる（斜め・平ら・長細いなど)。

※赤ちゃんの状態や月齢によって、治療の内容や効果は変わってきます。 **早めのご相談がポイントです♪**

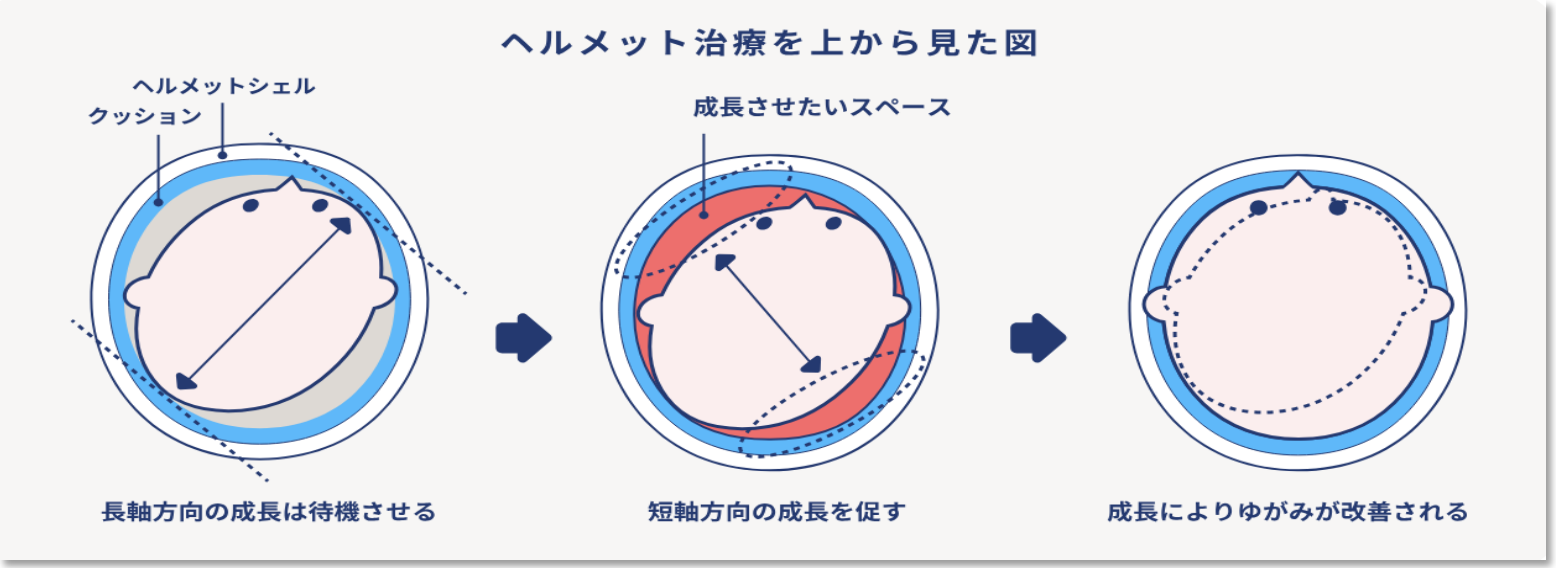
治療法について

🧸 理学療法（姿勢・体位の工夫）

◆日常生活の中で、赤ちゃんの頭の同じ部分に圧がかかりすぎないように姿勢を工夫します。
◆「タミータイム（うつぶせ遊び）」や「抱っこの向き」「寝る向きの調整」などを取り入れます。
◆効果が出やすいのは**生後4か月未満**。早期の取り組みがカギ！

🧢 ヘルメット治療（頭蓋矯正ヘルメット）

◆医療用の矯正ヘルメットを使い、ゆがみのある部分の成長をサポートします。
◆一人ひとりの頭の形に合わせた**オーダーメイド製。**
◆**生後3～6カ月**の間に開始すると最も効果が高いです。
◆治療期間は約4～6か月、効果を最大限にするため**1日23時間の装着**が基本です。
◆赤ちゃんに合わせて無理のないペースで進めていきます。



治療のながれ

医療法人 清慈会
鈴木病院

1.初診(小児科医による診察)

赤ちゃんの頭の形や向きぐせの様子をチェックし、
必要に応じて3Dスキャンの予約を行います。

2.3Dスキャンによる計測

専用カメラで頭の形を正確に立体的に記録します。
痛みはなく、数分で終了します。

3.ヘルメット作成(約2週間)

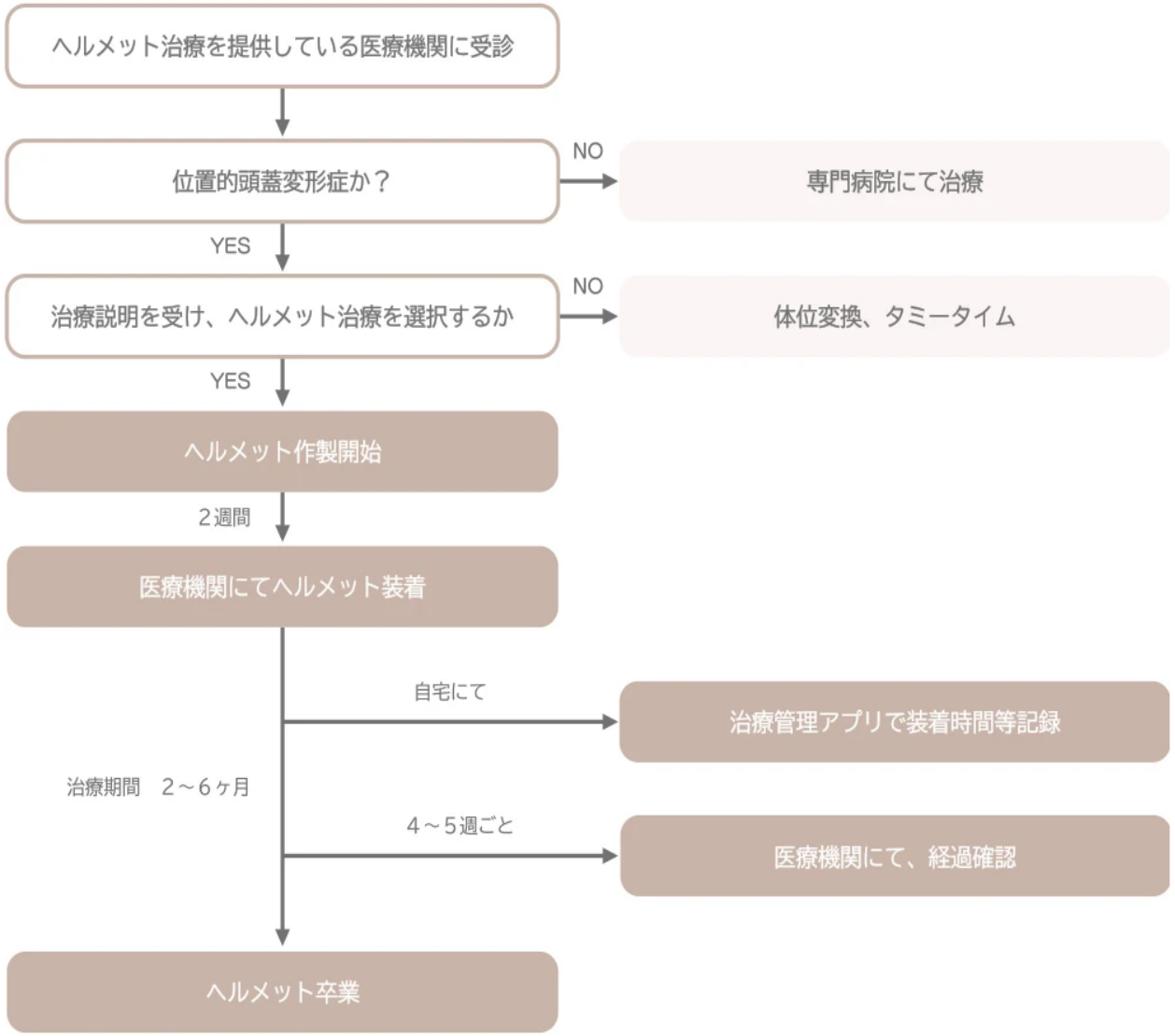
スキャンデータを元に、
お子さま専用の矯正ヘルメットをオーダーメイドで製作します。

4.装着スタート・定期フォロー

ヘルメットを装着し、月に1回程度の外来で
効果の確認・肌のトラブルなどをチェックします。

5.治療終了

頭の形が整ってきたら、ヘルメットを卒業します。
お疲れさまでした！



費用　お問い合わせに付いて

治療費について（自費診療）

治療費用は、330,000円（税込）です。
以下の内容がすべて含まれています：
◆3Dスキャン撮影料

◆オーダーメイドヘルメット（baby band 3）

◆治療終了までの外来フォロー・診察費用
※ヘルメットの紛失・破損、または治療延長による2個目作成には、別途費用が発生する場合があります。

ご予約・お問い合わせ

あたまの形外来は**完全予約制**です。
当院予約システムにて予約の取得が可能です。(https://yoyaku.atlink.jp/suzuki-hp/login?)
📞ご不明点がございましたら、小児科外来までお電話にてお問合せ下さい。
📍**鈴木病院 小児科 外来窓口**
受付時間：月曜日～土曜日 9:00～16:00（日祝休診）
📞 電話番号：0565-33-8051

よくあるご質問 🌱

Q1. 自然に治るって聞いたことがあるけど、ヘルメット治療は本当に必要？

A.

確かに赤ちゃんの頭の骨はやわらかく、成長に伴って自然に改善する場合もあります。特に軽度のゆがみであれば、体位を変えたり向きぐせに気をつけたりすることで、目立たなくなるケースもあります。

一方、**中等度～重度の頭のゆがみ**については、自然に改善する可能性が低いという研究結果もあります。見た目だけでなく、左右の耳の高さの違いや噛み合わせ、眼鏡のフィットなど、将来に影響が出ることもあります。

「自然に治るのか」「治療が必要なのか」を正しく判断するためにも、**一度専門外来でチェック**することをおすすめしています。

必ずしも治療を強制することはありませんので、まずはお気軽にご相談ください。

Q2. ヘルメットって赤ちゃんにとって苦しくないの？痛くない？

A.

ご安心ください。ヘルメット治療に使用するのは、**赤ちゃん専用に設計された医療用の矯正ヘルメット**です。赤ちゃんの頭の形を3Dスキャンで精密に測定し、ぴったりフィットするようにオーダーメイドで作成します。

そのため、**装着時に強い圧力がかかったり、苦しく感じたりすることは基本的にありません**。素材もやわらかく、通気性や肌へのやさしさを考慮したものを使用しています。

最初の数日は違和感を覚える赤ちゃんもいますが、ほとんどのお子さんが**数日～1週間ほどで自然に慣れて**いきます。さらに、月1回の通院でフィット感や皮膚の状態をしっかりチェックしながら治療を進めていきますので、初めてでも安心です。

Q3. ヘルメット治療はいつ頃までに始めた方がいいですか？

A.

最も効果が高いのは、**生後3～6か月頃**の赤ちゃんです。この時期は、頭の骨がまだやわらかく、脳の成長に合わせて頭の形も変わりやすいため、矯正の効果がしっかり出やすいタイミングです。

月齢が進むと、頭の骨が硬くなってくるため、ヘルメットを使っても思うように形が変わりにくくなってしまいます。そのため、**できるだけ早めの受診・相談がとても大切**です。

なお、6か月を過ぎても治療がまったくできないわけではありません。赤ちゃんの個性や状態によっては、7～8か月でも治療を開始する場合もあります。まずは現在の状態をしっかり確認してから、一緒に治療のタイミングを考えていきましょう。

Q4. ヘルメットはどのくらいの時間つける必要がありますか？ 日中も？

A.

基本的には、**1日23時間の装着**を推奨しています。お風呂の時間やお手入れの時間以外は、日中も夜もなるべく着けていただくことで、平らになっている部分の成長をしっかりと促すことができます。

もちろん最初は「本当にそんなに長く着けて大丈夫？」と心配されるご家族も多いですが、実際に治療を始めてみると、多くの赤ちゃんは**いつも通りに寝たり、遊んだり、笑ったり**しています。赤ちゃんの順応力はとても高く、親御さんが思っているよりずっとがんばってくれます。

ヘルメットの内側はやわらかいクッション素材で、通気性も考慮されているため、夏場でも比較的快適に過ごせるようになっています。皮膚のトラブルがないかどうかは、月に一度の診察でこまめに確認します。

Q5. 治療費はどのくらいかかりますか？ 保険は使える？

A.

現在のところ、ヘルメット治療は健康保険の適用外（自費診療）となっており、費用は330,000円（税込）です。
この費用には、以下の内容がすべて含まれています：

◆頭の3Dスキャン撮影
◆オーダーメイドヘルメット（ベビーバンド3）
◆治療終了までの診察料（月1回程度）

追加の費用がかかるケースとしては、ヘルメットの破損や紛失による再作製、また治療期間の延長により2個目のヘルメットが必要となる場合などがあります（その際も事前にご説明いたします）。
治療効果をしっかり出すためには、月齢に合ったタイミングでの開始がポイントです。ご不安な方は、まずは**無料の相談だけでもOK**ですので、気軽に小児科までご連絡ください。

不安なままにしないで。私たちが一緒に寄り添います

赤ちゃんの頭の形は、**成長とともに変わっていく大切な時期**のサインです。
「このままで大丈夫かな？」と感じたら、その気持ちをどうか見逃さずに。
気になることは、どんなに小さくても大丈夫。ぜひ私たちにご相談ください。